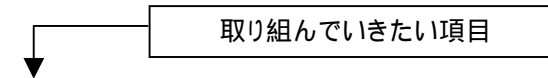


地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



| 項目                |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                 | ( 印 ) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)        |
|-------------------|---|---|-------|---|
| <b>. 理念に基づく運営</b> |   |   |       |   |
| 1. 理念と共有          |   |   |       |   |
| 1                 | 地域密着型サービスとしての理念   |   |       |   |
|                   | 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている            | 地域の一員として溶け込めるように配慮しながらホームとしての役割も考慮して理念に結び付けている。                 |       | 今よりもっと地域との結びつきを強くして、ホームを理解してもらえるように努力する |
|                   | 理念の共有と日々の取り組み   |   |       |   |
| 2                 | 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                             | 月一度の職員会議で職員に話し合うようにしている。  |       | 頻会に職員同士で話し合い取り組みたい                      |
| 3                 | 家族や地域への理念の浸透  |   |       |   |
|                   | 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる    | 家族の方々には説明もしているので理解を得ているが地域には十分にアピール出来ていない点もある                   |       | ホームでの取り組みをアピールし地域の人々の理解を得ていきたい          |
| 2. 地域との支えあい       |   |   |       |   |
| 4                 | 隣近所とのつきあい   |   |       |   |
|                   | 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | 日常的な散歩、外出、近隣の方と挨拶を交わしたり話が出来る。天候の変化があったときは教えに来てくれたりおすそ分けを頂いたりもする |       | 民生委の方が外出と一緒に同行してくれている                   |
| 5                 | 地域とのつきあい  |   |       |   |
|                   | 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている  | 自治会にも加入し地域の活動に参加を心がけている。  |       | 回覧板等を利用してホームの様子や利用者を理解してもらえるよう工夫していきたい  |

| 項目                    |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                   | (印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)            |
|-----------------------|---|---|-----|---|
| 6                     | <p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>                  | <p>散歩等で出合った方々とは話がいきお互いに交流がもたっている</p>              |     | <p>地域の中に役立つことが無いか自治会や民生委の方々と話し合う機会を持ちたい</p> |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 |   |   |     |   |
| 7                     | <p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>                           | <p>自分達の日頃の介護に対する考え方や方法を見直す良い機会と捕らえている</p>         |     |   |
| 8                     | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>           | <p>管理者の急な交代や急がし任せの中で会議を開催できていない</p>               |     | <p>今後は包括とも相談しながら定期的に開催できるようにしていきたい</p>      |
| 9                     | <p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>                            | <p>市で開催する会議には積極的に参加をしている。変化があったときは小まめに連絡をしている</p> |     |   |
| 10                    | <p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> | <p>研修に参加し、必要があれば活用できるようにしたい</p>                   |     |   |
| 11                    | <p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>            | <p>研修に参加し職員等に説明し、防止に努めている</p>                     |     | <p>具体的な事例を挙げて検討、話し合いを増やしたい</p>              |

| 項目             | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (印)   | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------|--|---|----------------------------------|
| 4.理念を実践するための体制 |  |   |                                  |
| 12             | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>                                 | <p>契約書を見ながら説明を十分に行い、同意をえている</p>                         |                                  |
| 13             | <p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>                                | <p>苦情の窓口を設け、用紙も用意している</p>                               |                                  |
| 14             | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>                              | <p>面会の時や、請求書発想の時に日頃の暮らしぶりや、写真を入れたりして報告している</p>          |                                  |
| 15             | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>                                | <p>苦情の窓口を設け、用紙も用意している</p>                               | <p>家族会の発足を検討している</p>             |
| 16             | <p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>  | <p>気軽に話し合える雰囲気を作ったり意見を聞くようにしている。</p>                    |                                  |
| 17             | <p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>                      | <p>勤務表の作成時配慮し、作成している</p>                                |                                  |
| 18             | <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>まめに職員の話聞く機会を設けたり、工夫している。職員の離職の際は利用者に配慮して気をつけている。</p> |                                  |

| 項目                        | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ( 印)   | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|---|--|----------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援               |   |  |                                  |
|                           | <p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>           | <p>研修会がある時は職員に参加を促している。ホーム内での内部研修、勉強会を行っていないので、休憩室に介護に関する本を置き自由に見れるようにしている</p> | <p>勉強会を持ち、継続していきたい</p>           |
| 20                        | <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>交流会や連絡会には積極的に参加している</p>   |                                  |
| 21                        | <p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>                                    | <p>職員が悩み等話易い雰囲気作りに取り組んでいる。食事会を設けている。</p>                                       |                                  |
| 22                        | <p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>                        | <p>職員の希望に添った勤務体制に心掛けて居る。</p>   |                                  |
| <b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>  |   |  |                                  |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 |   |  |                                  |
| 23                        | <p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>             | <p>利用者受付を行い、面接をし本人の意向に沿うようにしている。</p>   |                                  |
| 24                        | <p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>                  | <p>利用者受付を行い家族の意向に沿うようにしている。また聴く機会は家族の申し出があれば随時応じている</p>                        |                                  |

| 項目                        |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                       | (印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|--|---|-----|----------------------------------|
| 25                        | 初期対応の見極めと支援<br>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                                | 本人、家族の状況を把握してサービスに適しているか検討している                        |     |                                  |
| 26                        | 馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | お試し期間ではないが本人が納得できるよう家族と相談したり、職員の対応で声がけしながら馴染めるようにしている |     |                                  |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 |  |   |     |                                  |
| 27                        | 本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                       | ホーム内の掃除や食事の準備、片付け等利用者の能力や、気分に合わせて職員と一緒にいる             |     |                                  |
| 28                        | 本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている                                  | 面会の時に職員と話をし本人にとって良い方向性を一緒に考えている                       |     |                                  |
| 29                        | 本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している                                      | 日頃の生活の様子や変化があれば伝え家族との信頼に応えられるよう努めている                  |     |                                  |
| 30                        | 馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている  | 友人の面会等も受け付けている。馴染みの美容室等家族の協力を得ながら通ったりしている。            |     |                                  |
| 31                        | 利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている                                       | 居室の配置やリビングでの座席の位置等、利用者同士が交流が持てるように配慮している。             |     |                                  |

| 項目                                |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                          | ( 印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)           |
|-----------------------------------|--|--|------|--|
| 32                                | 関係を断ち切らない取り組み<br>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている                      | 年始の挨拶等をしている。   |      | サービスを関係なく色々相談に乗ったり、情報の交換をしていきたい            |
| <b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |  |  |      |  |
| 1. 一人ひとりの把握                       |  |  |      |  |
| 33                                | 思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している  | プラン作成のとき意向に努めてはいる  |      | プラン作成に少し時間をかけ本人の意向を沢山引き出したい。困難な時は観察に時間をかけた |
| 34                                | これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                    | 家族から話を聞き環境を極端に変えないようにしている                                |      |  |
| 35                                | 暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている  | 出来る事は本人にして頂いている。無理強いせず本人の判断に任せている時もある。お手伝いが出来る方にはして頂いている |      |  |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し    |  |  |      |  |
| 36                                | チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | 職員からの情報やプラン担当者の判断、家族の意向で作成している                           |      | 本人の課題を必要な関係者ともっと話し合いよいケアに結び付けたい            |
| 37                                | 現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 本人の状態が変化したとき、介護有効期間が更新の時作成しなおしている                        |      | 話し合う時間を持ち作成したい                             |

| 項目                          |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                   | (印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------|--|---|-----|----------------------------------|
| 38                          | 個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている     | 日々の様子は記録にし、職員同士の申し送りで情報を共有しケアに結び付けている             |     |                                  |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援           |  |   |     |                                  |
| 39                          | 事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている               | 面会時の外出、年末年始、家族の行事に合わせて外泊等行っている                    |     |                                  |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 |  |   |     |                                  |
| 40                          | 地域資源との協働<br>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している              | 必要に応じて対応している                                      |     |                                  |
| 41                          | 他のサービスの活用支援<br>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている   | 行っていない  |     | 本人の意向や必要性があれば支援したい               |
| 42                          | 地域包括支援センターとの協働<br>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している  | 包括との連携を始めたばかりです                                   |     | 頻会に連絡を取り合い良いケアマネジメントにつなげたい       |
| 43                          | かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 本人。家族の納得を得て、かかりつけ医と連携をとり24時間体制をとっている。月1回の往診を行っている |     |                                  |

|    | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                            | (印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                  |
|----|---|--|-----|---|
| 44 | <p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>  | <p>利用者の状況に応じて話し合い、必要に応じて他の医療機関に受診している</p>                  |     |   |
| 45 | <p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>   | <p>かかりつけ医の看護職員と気軽に相談が出来る</p>                               |     |   |
| 46 | <p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>                      | <p>利用者の家族の希望の病院に入院するよう決めている。</p>                           |     | <p>ホームでの受け入れ基準が本人の状態に拠るので家族との話し合いが必要になるケースが多い</p> |
| 47 | <p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>                                   | <p>かかりつけ医と相談しながら紹介状を書いて頂いている。家族とも話し合い入院先の病院を決めている</p>      |     |   |
| 48 | <p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p> | <p>ホームで出来ること、出来ないことを職員で話し合い決めている。かかりつけ医と連携をとりながら対応している</p> |     |   |
| 49 | <p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>                      | <p>家族や関係者と連携を取っている。本人に一番良いと思えるよう検討している</p>                 |     |   |



| 項目                            | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (印)  | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|--|--|----------------------------------|
| <b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |  |  |                                  |
| 1. その人らしい暮らしの支援               |  |  |                                  |
| (1) 一人ひとりの尊重                  |  |  |                                  |
| 50                            | <p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>                     | <p>利用者に対しては尊敬の意を持って接している。記録等は個人名ではなくイニシャルで書くよう配慮している</p>   |                                  |
| 51                            | <p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p> | <p>本人が決められるような声かけを心掛け、説明したりし納得して頂いている</p>  |                                  |
| 52                            | <p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>       | <p>一番は利用者の快適な生活なので本人の希望を優先している</p>   |                                  |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 |  |  |                                  |
| 53                            | <p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>                  | <p>本人の馴染みの洋服等を持って来ているので個人に合った服装にしている。理容は地域の馴染みの所に行っている。美容は家族が馴染みの店に連れて行ってくれたり、本人の状況に応じて馴染みの訪問を利用している</p> |                                  |
| 54                            | <p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>           | <p>食事の手伝いのできる人には一緒に行っている。片付けも無理強いせず手伝って貰えるときは、お願いし、有難うと声かけている</p>  |                                  |
| 55                            | <p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>                  | <p>コーヒーが好きな人、紅茶が好きな人、煙草を吸う人、それぞれ好みに応じて対応している</p>   |                                  |

| 項目                           |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                  | (印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                       |
|------------------------------|--|--|-----|--|
| 56                           | <p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>         | <p>排泄票を利用したり、時間を見て誘導したり支援している</p>                                |     |  |
| 57                           | <p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>    | <p>ホームの浴槽の都合上入浴日は決めているが、入浴するタイミングは本人に任せ納得して入浴して頂いている</p>         |     | <p>本人の入りたい日にしたいが入浴を好まない人も居るので入らない事もある。声がけ等配慮していきたい</p> |
| 58                           | <p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>                     | <p>本人の状況に応じている</p>   |     |  |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |  |  |     |  |
| 59                           | <p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>  | <p>絵を描くのが好きな人、編み物が好きな人、本が好きな人、散歩が好きな人、お掃除が好きな人その人に応じた支援をしている</p> |     |  |
| 60                           | <p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>  | <p>お小遣い様の財布を用意し外出のとき本人に支払っていただいている。職員と民生委の協力を得ながら行っている</p>       |     |  |
| 61                           | <p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>                    | <p>天候の良い日は、散歩に出かける。職員が買物に行くとき一緒に出かける</p>                         |     | <p>希望に添って出かけられるよう工夫したい。職員と話し合う時間を作る</p>                |
| 62                           | <p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p> | <p>1ユニットの為天気がいい日は車で出かける事もすぐ出来る。1年に1回は家族も交えて日帰りだが旅行にも出かけている</p>   |     |  |

| 項目             |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)        | ( 印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)       |
|----------------|--|--|------|--|
| 63             | 電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                  | 本人が希望すればいつでも電話等できる                     |      |  |
| 64             | 家族や馴染みの人の訪問支援<br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している                   | 面会はいつでも家族、知人等受け入れている。各自室にて自由に過ごして頂いている |      |  |
| (4)安心と安全を支える支援 |  |  |      |  |
| 65             | 身体拘束をしないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体の手束はしていない。                           |      |  |
| 66             | 鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる                  | 普段は鍵を掛けないがひとり不穏な態度になった時のみ1箇所掛けている      |      | 職員の気配り、目配り必要なるべく掛けなくて済むよう配慮していきたい      |
| 67             | 利用者の安全確認<br>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している                           | 利用者が何処にいて、何をしているか把握する努力をしている           |      | 目の行き届かない点が時々ある。職員は個人の癖を把握するように努力していきたい |
| 68             | 注意の必要な物品の保管・管理<br>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている                     | 状況を把握して何故危険なのか、納得して貰い危険を取り除いている        |      |  |
| 69             | 事故防止のための取り組み<br>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる                  | 全体の物はあるが、一人ひとりのものは漠然としかない。             |      | 一人ひとりに応じたものを作成する                       |

| 項目                        |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                   | ( 印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)               |
|---------------------------|---|---|------|--|
| 70                        | 急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている                 | 講習には参加しているが定期的な訓練はしていない                           |      | 定期的に訓練をし、対応できるようにしていきたい                        |
| 71                        | 災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている   | 自治会に参加したため地域の訓練に参加している                            |      | 具体的な物がないので地域に働きかけたい                            |
| 72                        | リスク対応に関する家族等との話し合い<br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている | 面会時家族にその都度報告、相談をしている                              |      |  |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |   |   |      |  |
| 73                        | 体調変化の早期発見と対応<br>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている           | 職員が素早く気づくよう勤め、連携し管理者、医者、救急車等対応できるようにしている          |      |  |
| 74                        | 服薬支援<br>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている       | 服薬表を作成し、職員が理解できるようにしている                           |      | 日付、名前、朝、昼、夕と明記していても間違いや飲ませ忘れがおこる。職員の気配りを指導していく |
| 75                        | 便秘の予防と対応<br>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる         | 献立表を作成し、気を配っている。水分補給を促す。散歩等身体を動かして頂いている           |      |  |
| 76                        | 口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている                   | 入れ歯使用の人等毎食後歯磨きを自分で出来る人は自分で、介助、声がけ、とその人に応じた対応をしている |      |  |

| 項目                      |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|--|---|-----|----------------------------------|
| 77                      | 栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | フローシートに毎日朝、昼、夕と食事量水分記録をしている   |     |                                  |
| 78                      | 感染症予防<br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）   | かかりつけ医と連携して行っている。外から帰って来たときは手洗いうがいをしている。職員は手の消毒を常にしている。食事の前には利用者は手の消毒を毎回している。 |     |                                  |
| 79                      | 食材の管理<br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている  | 食洗器の利用。夜勤者が台所用品の消毒を行う。食材は前日購入。米は有機米を使用。                                       |     |                                  |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり |  |   |     |                                  |
| (1) 居心地のよい環境づくり         |  |   |     |                                  |
| 80                      | 安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている                              | 道路に沿って花を生けたり、鍵は掛けずに出入り自由にして   |     |                                  |
| 81                      | 居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節毎の貼り絵を利用者と作成しリビングに飾っている。出かけたときの写真を貼ったり工夫している。トイレ等カーテンをして配慮している              |     |                                  |
| 82                      | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                              | 一人ひとりの座席は決まっているが、居室に戻られリビングの開いている席には自由に座れるよう声がけしている                           |     |                                  |

| 項目                     |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                      | ( 印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|--|--|------|----------------------------------|
| 83                     | 居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 自宅で使用していた家具等利用している。本人が使いやすいよう家族や本人と相談して配置している。衣類は本人の好みに合わせて着て頂いている。  |      |                                  |
| 84                     | 換気・空調の配慮<br>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている        | 設定温度を決め小まめに配慮している。床暖の使用。毎朝掃除の時換気をおこなう。トイレ等の換気扇を大きくし臭いのだよみがないようにした    |      |                                  |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり |  |  |      |                                  |
| 85                     | 身体機能を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                 | 廊下、玄関、トイレ、浴室に手すり設置している。道路から玄関までスロープで手すり設置歩行時の安定を計っている。               |      |                                  |
| 86                     | わかる力を活かした環境づくり<br>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している                           | 何か物事を始めるときは声がけをし理解、納得して頂き行動して頂いている。トイレ等失敗してもさりげなく交換し本人を傷つけない配慮をしている。 |      |                                  |
| 87                     | 建物の外周りや空間の活用<br>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている                                   | ベランダにテーブルを置いたり、庭にベンチを置いたり外気浴を楽しめるようにしてある。プランターに花を植え利用者に水遣りをして頂いている   |      |                                  |

| . サービスの成果に関する項目 |  | 最も近い選択肢の左欄に をつけてください。 |  |
|-----------------|--|-----------------------|--|
| 項 目             |  |                       |  |
| 88              | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                      | ほぼ全ての利用者の             |  |
|                 |  | 利用者の2/3くらいの           |  |
|                 |  | 利用者の1/3くらいの           |  |
|                 |  | ほとんど掴んでいない            |  |
| 89              | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                         | 毎日ある                  |  |
|                 |  | 数日に1回程度ある             |  |
|                 |  | たまにある                 |  |
|                 |  | ほとんどない                |  |
| 90              | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            | ほぼ全ての利用者が             |  |
|                 |  | 利用者の2/3くらいが           |  |
|                 |  | 利用者の1/3くらいが           |  |
|                 |  | ほとんどいない               |  |
| 91              | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている                 | ほぼ全ての利用者が             |  |
|                 |  | 利用者の2/3くらいが           |  |
|                 |  | 利用者の1/3くらいが           |  |
|                 |  | ほとんどいない               |  |
| 92              | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている                           | ほぼ全ての利用者が             |  |
|                 |  | 利用者の2/3くらいが           |  |
|                 |  | 利用者の1/3くらいが           |  |
|                 |  | ほとんどいない               |  |
| 93              | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている                     | ほぼ全ての利用者が             |  |
|                 |  | 利用者の2/3くらいが           |  |
|                 |  | 利用者の1/3くらいが           |  |
|                 |  | ほとんどいない               |  |
| 94              | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている            | ほぼ全ての利用者が             |  |
|                 |  | 利用者の2/3くらいが           |  |
|                 |  | 利用者の1/3くらいが           |  |
|                 |  | ほとんどいない               |  |
| 95              | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ほぼ全ての家族と              |  |
|                 |  | 家族の2/3くらいと            |  |
|                 |  | 家族の1/3くらいと            |  |
|                 |  | ほとんどできていない            |  |

| 項 目 |   | 最も近い選択肢の左欄に をつけてください。 |  |
|-----|---|-----------------------|--|
| 96  | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                        | ほぼ毎日のように              |  |
|     |   | 数日に1回程度               |  |
|     |   | たまに                   |  |
|     |   | ほとんどない                |  |
| 97  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | 大いに増えている              |  |
|     |   | 少しずつ増えている             |  |
|     |   | あまり増えていない             |  |
|     |   | 全くいない                 |  |
| 98  | 職員は、生き活きと働けている  | ほぼ全ての職員が              |  |
|     |   | 職員の2/3くらいが            |  |
|     |   | 職員の1/3くらいが            |  |
|     |   | ほとんどいない               |  |
| 99  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                           | ほぼ全ての利用者が             |  |
|     |   | 利用者の2/3くらいが           |  |
|     |   | 利用者の1/3くらいが           |  |
|     |   | ほとんどいない               |  |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                       | ほぼ全ての家族等が             |  |
|     |   | 家族等の2/3くらいが           |  |
|     |   | 家族等の1/3くらいが           |  |
|     |   | ほとんどできていない            |  |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

1ユニット(9人)のため、行事がすぐ行える。(天気の良い日は散歩、ドライブ等)  
家庭的な雰囲気大切にしている。